

## 硫化水素

最近、硫化水素を使った自殺者が後を絶たない状況となっています。硫黄を含有する入浴剤と酸性系の洗剤を混ぜ合わせるだけで硫化水素が発生することから、厚生労働省から日本薬剤師会にそれらの販売に関する通知が出されたのはご承知のことと思います。

イオウを成分として含む入浴剤の販売に当たっては、必要に応じて、身元及び使用目的について確認した上で行うこととし、使用目的が不審な者やあいまいな者等当該製剤の安全な取扱いに不安があると認められる者には、販売を差し控えること。特に、イオウを成分として含む入浴剤と同時に、酸性洗剤を購入しようとする者に対しては注意されたい。

なお、注意を呼びかけるために、個別具体的な製品名を薬局・薬店で掲示すること等は、自殺を企図する者等に対して動機づけを与えることにつながる危険性があるため、避けること。

硫化水素とは、 $H_2S$  の分子式で表わせる硫化化合物で、無色で卵の腐ったような臭いのする気体です。可燃性の気体で空気に混合すると爆発混合物を生じるとも言われています。

### 【吸入するとどうなるか】

- ① 激しく鼻や喉を刺激して、激しい痛みを起こします。
- ② 中枢神経を麻痺させ、頭痛、まめい、歩行の乱れ、呼吸障害を起こします。

### 【目に入った場合はどうなるか】

- ① 激しい痛みをおこします。

インターネットの自殺サイトでは、薬に死ぬるという書き込みから詳しい調製方法まで載っているサイトがあるようですが、上記の症状があるわけですから、決して薬に死ぬるような気がしません。

死に切れない場合は脳神経に重大な障害を残してしまう可能性だってあります。かつ気体ですから隙間から外へ漏出し、周りの人に多大な迷惑をかけることとなります。

そもそもサイトに薬に死ぬると書いている人自身は生きているわけで、薬に死ぬることを実感した人ではないのですから、薬に死ぬるかどうかなどアテになりません。

硫化水素による続発する自殺事件の誘因の一つにインターネット文化の影の部分が上げられますが、薬剤師会から通知のあったように販売する立場の薬局・薬店やスーパーの担当者は供給源を絶つという観点から、入浴剤や酸性洗剤の不自然な購入をする人には気を配る必要があります。

## 二年後から始まる学生実務実習の 受入れ拒否病院には 薬学卒業生が来なくなる??

先日、富山県病院薬剤師会の『総会+DI 研修会』に参加してきました。会場外の立ち話で、前県病薬会長と話をしていたのですが、その会話の中で表記のような表現が飛び出してきたわけです。

要するに、学生の実務実習も受け入れられないような病院には大学薬学部側から学生に対してその病院を薦めることはできない状態になるだろうということです。

病院薬局の話でありつつも、これは保険薬局にも通じる話で多忙を理由に学生実習の受入れを拒否したり、実務実習指導薬剤師の研修を怠っていたりすると、四年後に六年制学生が卒業した時に、薬剤師が来てくれない・・・なんてことになりかねません。

二年に一回ある診療報酬や調剤報酬改定にしてもそうですが、時代の流れにその時、その時に乗っていかないと、あとから始めようとするとかかなりの労力や不利益を被る結果となるようです。

学生実習の受入れは近い将来的な薬剤師受け入れにもつなげると考えるとおそろかにできません。実務実習指導薬剤師の研修やワークショップには積極的に参加しましょう。

**影の声**：：：薬剤師過剰時代になってどんな病院や保険薬局でも大学就職担当者が就職させてやってくれと頭を下げてたのみにくるんじゃないの～

もうすぐ梅雨です  
ね。湿気に弱い  
薬には特に注  
意ですよ！



【立山、室堂近くの雪の大谷】

※立山室堂から下ったところに地獄谷という周辺がイオウの黄色で染まった地帯があります。今でも蒸気を上げている場所ですが、立入り禁止地区に入ると硫化水素を吸い込む可能性もあるので注意が必要です。